

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公開番号】特開 2019-193229 (P2019-193229A)

【公開日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-044

【出願番号】特願 2018-87543 (P2018-87543)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/235 (2006.01)

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

H 0 4 N 5/243 (2006.01)

G 0 3 B 7/097 (2021.01)

G 0 3 B 17/18 (2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 9 3 9

H 0 4 N 5/225 0 0 0

H 0 4 N 5/232 0 3 0

H 0 4 N 5/235 3 0 0

H 0 4 N 5/238

H 0 4 N 5/243

G 0 3 B 7/097

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/235 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 6 日 (2021.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絞り値、シャッター速度、ISO 感度の少なくとも 1 つの露出制御パラメータの設定値を 1 / n 段ステップ (n は 8 以上の整数) で設定可能な設定手段と、

1 / n 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値を、1 段ステップでの数値と、1 段未満の段数を示す段数表現とで表示するように制御する表示制御手段と、

を有し、

前記設定手段での前記露出制御パラメータの設定値の設定ステップを 1 / 2 段ステップと 1 / 3 段ステップの少なくとも一方でも設定可能であり、

前記表示制御手段は、1 / 2 段ステップまたは 1 / 3 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値は、1 段未満の段数を示す前記段数表現を用いずに表示するように制御することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記露出制御パラメータの設定値を 1 段ステップでも設定可能であり

、

1 / n 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値として表示される前記

1 段ステップでの数値の部分は、前記設定手段によって 1 段ステップで設定可能な値のうち、前記設定値以下で最も近い値であることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記段数表現として、前記 1 段未満の段数を示す分数を表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記 1 段未満の段数を示す前記分数を、分母を n として約分せずに表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記表示制御手段は、前記 1 段未満の段数が m/n (m は 1 以上 n 未満の整数) である場合に、前記段数表現として m 個の指標を表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記設定手段での前記露出制御パラメータの設定値の設定ステップを切り替える切替手段を更に有し、

前記露出制御パラメータの設定値が 1 / 2 段ステップまたは 1 / 3 段ステップで設定された状態から、前記設定手段の前記設定ステップが 1 / n 段ステップに切り替えられた場合、前記表示制御手段は、1 / 2 段ステップまたは 1 / 3 段ステップで設定された前記設定値を変更することなく、前記設定値の表示形態を前記設定ステップの切り替え前から変更し、前記設定値を、1 段ステップでの数値と、1 段未満の段数を示す前記段数表現とで表示するように制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記露出制御パラメータは、絞り値である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 8】

前記 1 / n 段ステップで設定された絞り値の設定値を動画撮影に適用し、静止画撮影には前記 1 / n 段ステップで設定された絞り値の設定値を適用せずに、他の設定ステップで設定された絞り値を適用する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記露出制御パラメータは、シャッター速度である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記露出制御パラメータは、ISO 感度である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記露出制御パラメータを用いて撮像を行う撮像装置と通信する通信手段を更に備え、前記通信手段は、前記撮像装置が用いるための前記露出制御パラメータとして前記設定手段で設定された設定値を前記撮像装置に送信する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 12】

前記設定手段で設定された設定値に基づいた撮像を行う撮像手段を更に有する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項 に記載の電子機器。

【請求項 13】

絞り値、シャッター速度、ISO 感度の少なくとも 1 つの露出制御パラメータの設定値を 1 / n 段ステップ (n は 8 以上の整数) で設定可能な設定工程と、

1 / n 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値を、1 段ステップでの

数値と、1 段未満の段数を示す段数表現とで表示するように制御する表示制御工程と、
を有し、

前記設定工程では、前記露出制御パラメータの設定値の設定ステップを 1 / 2 段ステップと 1 / 3 段ステップの少なくとも一方でも設定可能であり、

前記表示制御工程では、1 / 2 段ステップまたは 1 / 3 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値は、1 段未満の段数を示す前記段数表現を用いずに表示するように制御することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 1 4】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載の電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 5】

コンピュータを、請求項 1 乃至 1 2 のいずれか 1 項に記載の電子機器の各手段として機能させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記課題を解決するために、本発明は、絞り値、シャッター速度、ISO 感度の少なくとも 1 つの露出制御パラメータの設定値を 1 / n 段ステップ（n は 8 以上の整数）で設定可能な設定手段と、1 / n 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値を、1 段ステップでの数値と、1 段未満の段数を示す段数表現とで表示するように制御する表示制御手段と、を有し、前記設定手段での前記露出制御パラメータの設定値の設定ステップを 1 / 2 段ステップと 1 / 3 段ステップの少なくとも一方でも設定可能であり、前記表示制御手段は、1 / 2 段ステップまたは 1 / 3 段ステップで設定された前記露出制御パラメータの設定値は、1 段未満の段数を示す前記段数表現を用いずに表示するように制御することを特徴とする電子機器を提供する。